



日本語

能力测试考点解析

二级读解篇

主审 細木洋 長山優子
编著 崔崑 徐冰

★ 掌握答题技巧
★ 考前强化训练
★ 最新真题详解
★ 突破考点难点



东南大学出版社
SOUTHEAST UNIVERSITY PRESS

要 要 容 内

日语能力测试考点解析

二级读解篇

主 审 細木洋 長山優子
编 著 崔 崑 徐 冰

东南大学出版社

内容提要

本书分为总序、目录、概述、试题、试题解答解说、参考答案等。所用资料均选自于日本最新出版的有关日语能力测试的参考资料、模拟试题及相关材料。本书的编写思路是建立在对历年日语能力测试研究与总结基础之上。书中的概述部分对该部分的内容、特点、重点、注意事项等进行了细致的分析和高度概括。本书的“试题解答解说”是本书的核心部分。除了给出正确选项外,还对该题进行了入木三分的解读,力图使考生和读者知道考点是什么、如何答题、怎样才能加快答题速度。相信通过本书的学习,读者能在考前做好充分准备,并在最短的时间内提高日语整体实力,顺利通过考试。

图书在版编目(CIP)数据

日语能力测试考点解析·二级读解篇/崔崑,徐冰编著.
—南京:东南大学出版社,2006.3
ISBN 7-5641-0303-5

I. 日... II. ①崔... ②徐... III. 日语—阅读教学—水平
考试—自学参考资料 IV. H360.41

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 020372 号

日语能力测试考点解析·二级读解篇

出版发行 东南大学出版社
出版人 宋增民
社 址 南京市四牌楼 2 号
邮 编 210096
电 话 (025)83793329(办公室)/83362442(传真)/83795801(发行部)
83791830(邮购)/57711295(发行部传真)
网 址 <http://press.seu.edu.cn>
电子邮件 liu-jian@seu.edu.cn

经 销 全国各地新华书店
印 刷 大连华伟印刷有限公司
开 本 787mm×960mm 1/16
印 张 11
版 次 2006 年 4 月第 1 版第 1 次印刷
印 数 1—5000 册
定 价 15.00 元

* 未经本社授权,本书内文字不得以任何方式转载、演绎,违者必究。
* 东大版图书若有印装质量问题,请直接向发行部调换,电话:025—83795801。

总序

日语能力测试是日本国际交流中心和日本国际交流学会为全世界的日语学习者设置的一项国际性日语水平考试。自1984年开设以来,每年12月在全世界几十个国家和地区同一时间举行。规模之大、参加人数之多,是仅次于GRE的国际型考试,俗称为JRE。

近年来,随着我国整体实力的增强、国际交往的日趋频繁,日语越来越受到社会各届的青睐。日语能力测试不仅能检验日语学习者的日语能力,而且其中高级证书——一、二级合格证书,还在升学、求职、留学等场合发挥重要的作用。为了满足社会各界及日语学习者的需要,我们编写了这套《日语能力测试考点解析》。

全套书共分八册,一级四册:《日语能力测试考点解析一级文字·词汇篇》《日语能力测试考点解析一级听解篇》《日语能力测试考点解析一级读解篇》《日语能力测试考点解析一级语法篇》;二级四册:《日语能力测试考点解析二级文字·词汇篇》《日语能力测试考点解析二级听解篇》《日语能力测试考点解析二级读解篇》《日语能力测试考点解析二级语法篇》。

每册分为总序、目录、概述、试题、试题解答解说、参考答案、参考文献等。与同类书相比,本书有以下几个特点:

1. 选材新颖。本书所用资料均选自于日本最新出版的有关日语能力测试的参考资料、模拟试题及相关材料。
2. 画龙点睛。每册的概述部分都对该部分的内容、特点、重点、注意事项等进行了细致的分析和高度概括。
3. 深入浅出。每册的“试题解答解说”是本套书的核心部分。除了给出正

确选项外还对该题进行了入木三分的解读。力图使考生和读者知道考点是什么、如何答题、怎样才能加快答题速度。

4. 针对性强。编撰本套书的目的十分明确——通过阅读本套书,使读者顺利通过日语能力测试一、二级。因此,本套书的编写就是根据日语能力测试一、二级的各项内容来安排的。

5. 使用方便。全书虽分为八册,但它们又是互相联系的一个整体。读者可以根据自己的情况有重点、有主次地分步练习,也可以按照二级→一级的顺序,由浅入深地学习。

我们真诚希望通过本套书的学习,读者能在考前做好充分准备,并在最短的时间内提高自己的日语整体实力,顺利通过考试。

崔 峯

2006年3月

目 录

一、読解概述	1
二、二級読解試題	3
第一单元	3
第二单元	14
第三单元	25
第四单元	34
第五单元	44
第六单元	53
第七单元	62
第八单元	72
第九单元	81
第十单元	91
第十一单元	100
三、二級読解試題解答解説	111
第一单元	111
第二单元	116
第三单元	121
第四单元	125
第五单元	131
第六单元	136
第七单元	141
第八单元	146
第九单元	151
第十单元	155
第十一单元	160
四、参考答案	166
参考文献	170

一、读解概述

(一) 读解概述

读解(或说阅读理解)部分是日本语能力测试中最重要的一项,也是分值较多的一部分。它的目的是测试应试者对阅读文章的理解能力,即从篇章的角度测试应试者的语言综合运用能力、理解能力及掌握语言的熟练程度。

读解题要求以较快的速度(每分钟约 200 个字)阅读一般题材(科普、社会、文化、史地、风俗、人情等)和各种文体(说明文、叙述文、应用文、议论文、散文等)的短文。

1. 读解题的要求一般是:

(1) 理解文章的中心和大意。

(2) 掌握用以阐述文章中心的事实和有关细节。

(3) 依据文章中的信息进行判断和推测。

(4) 领会文章作者的观点和意图。

读解题的特点是题量大、题材广泛、测试点多。

2. 阅读题量(以 2004 年试题为例):

一般由一篇较长的文章(或某篇文章的部分章节)和九篇较短的文章(或部分段落)组成,共约 12,000 字,21 问。

3. 题材:

文章题材广泛,涉及到日本的方方面面。如政治、经济、社会、文化、教育、体育、科学、技术、风俗、人情、历史、地理等。

4. 测试点:

(1) 指示代词的指代内容。

(2) 重点词句。

(3) 文章的大意、主旨。

(4) 文章逻辑关系的来龙去脉。

(5) 文章细节的把握。

(6) 辨析语法。

(二) 出题形式

读解题一般是给出一篇文章,随后就文章的内容提出问题(上述几方面测试点)。

读解的文章形式、篇幅及设问数目每年略有调整。下面以 2004 年度二级读解题为例,

介绍其出题形式。该题分为「問題Ⅰ」、「問題Ⅱ」、「問題Ⅲ」三部分。「問題Ⅰ」为一篇较长的文章,共六问。「問題Ⅱ」由三篇文章组成共十问。「問題Ⅲ」由五篇短文组成,每篇短文各有一问或两问。「問題Ⅰ」、「問題Ⅱ」、「問題Ⅲ」的每问中各有四个选项,考生应从中选择一个正确答案。

(三)测试点分析

现将读解答题测试点分析如下:

1. 对重点词句的理解(如接续词、副词等)。
2. 对作者观点、意图的领会。
3. 对文章中心的把握。
4. 对文章中细节的理解。
5. 对文脉的理解。
6. 对指示代词指示内容的掌握。

要做好读解答题,最重要的是读懂文章、读懂问题。首先通读一遍文章及文章后所列出的问题,然后再细看文章,做出正确的判断。

二、二級読解試題

第一单元

問題Ⅰ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

数学に関してぜひとも言っておきたいことがあります。

数学が嫌いな人が多い理由の一つは、数学はできるかできないかがはっきりしているためです。できないとどうしても嫌いになるのです。そこで、ぼくがどうやって数学を勉強したか、それについて話をします。

ぼくは、14歳のとき、夏休みにずっと親の別荘^{べっそう}にいて、昼間ずっと数学の問題を解いていました。数学の分厚い問題集^{ぶんあつ}の中の問題を解く。これはけっして日本人ができないことではありません。^①ただし、日本人の多くの学生は、問題をちょっとだけ考えて、すぐでなければいいけれども、できなかったらすぐに解答のページ^(注1)をめくって「ああ、なるほど」と納得して、つぎの問題に移るのです。これではダメです。^②(中略)それでは頭の中に残りません。自分にとっては、どちらかというと失敗の経験なのです。問題は解けなかった。解答を見てわかったけれども、解けなかったのです。

ぼくはそうではありませんでした。ぼくは問題は自分の力で解くべきだと考えて、それ断固^{だんこ}を実行したのです。^(注2)5分や10分でできた問題もあれば、30分も1時間もかかった問題もよくありました。1時間でもできない問題の場合には、ぼくはベッドの下引き出しに入りました。横になってふたを下ろすと、まったく暗闇^{くらやみ}の中^(注3)です。その身動きができない状態^{じょうたい}で数学の問題を考えたのです。

ぼくは、問題が解けないかぎり、ここから出ないと決心しました。頭の中では数学の問題をずっと考えて、そして結局、解けたのです。さもないと。いまごろはミイラ^(注4)になっているでしょう。

そんな悠長^{ゆうちょう}なことはしてはいられない。^{③ (注5)}自分が一つの問題を5時間も考えているうちに、ほかの人は20問も答えがわかってしまう。それでいいのだろうかと思う人がいる

でしょう。でもちがうのです。

「問題を自分の力だけで解いてしまうことができた。やった!」と、大きな喜びを感じられます。そして、数学にもっと興味^{きょうみ}がわいてくるのです。数学はおもしろいな、楽しいなと思えるのです。かんたんな問題でもいい。それを自分の力で解くことによって、興味がつぎつぎにわいてくるものです。それはポジティブな記憶^(注6)になります。ポジティブな記憶^{きおく}は、頭の中に残るのです。

逆に、解答を見て20問がわかったとしても、「結局できなかった」と虚^{むな}しさが残るだけ^(注7)なのです。この記憶はネガティブな記憶^(注8)ですから、脳が忘れてしまうのです。

このように、ポジティブな記憶を残していくこと、そのためにいろいろな方法を自分なりに考えてください。そして実行してみて、自分に合わないとわかれば、別の方法を探せばいいのです。ほかのとった方法もぜひ参考にしてみてください。

(ピーター・フランクル『ピーター流らくらく学習術』岩波書店による)

(注1) ページをめくる: ページをあける

(注2) 断固^{だんこ}: 何があっても絶対に

(注3) 暗闇^{くらやみ}: 真暗なところ

(注4) ミイラ: 人間や動物の死体が乾いて固まったもの

(注5) 悠長^{ゆうちょう}な: のんびりした

(注6) ポジティブ: 積極的、肯定的

(注7) 虚^{むな}しさ: 満足感がないこと

(注8) ネガティブ: 否定的

【問1】 筆者は、数学が嫌いな人が多いのはなぜだと言っているか。

- 1 できるまでに長い時間がかかるから
- 2 できてもできなくてもかまわないから
- 3 できるかできないかのどちらかだから
- 4 できるかできないかがよくわからないから

【問2】 ①「これ」とはどのようなことか。

- 1 夏休みに昼間ずっと親の別荘^{べつそう}にすること
- 2 数学の問題集にある問題を解いていくこと

3 数学の問題をちょっと考えてすぐ解いてしまうこと

4 親と一緒に数学の分厚い問題集の中の問題を解くこと

【問3】 ②「これではダメです」とあるが、どうしてダメなのか。

1 問題が多すぎて頭の中に残らないから

2 解答を見ても納得できず、解かなかったから

3 問題が解けなかったという失敗の体験になるから

4 解答をみて解き方が失敗だということがわかったから

【問4】 ③「そんな悠長なこと」とはどんなことか。

1 5分や10分で出来る問題をたくさん解くこと

2 問題が解けるまでずっと何時間も考えつづけること

3 ベッドの引き出しの中で身動きもせず横たわっていること

4 解答のページをめくって、わからない問題の答えを調べること

【問5】 記憶について、筆者が述べていることと合っているものはどれか。

1 ネガティブな記憶は、頭の中に長くとどまらない。

2 ポジティブな記憶は、ネガティブな記憶ほど残らない。

3 ネガティブな記憶は、いやな体験として長く記憶される。

4 ポジティブな記憶は、長い時間をかけて初めて得られる。

【問6】 この文章で筆者が言いたいことはどれか。

1 数学は、時間がかかっても数多く問題を解くことにより、興味がわいてくる。

2 数学は、簡単な問題から解き始めることにより、楽しくなり興味がわいてくる。

3 数学は、時間がかかっても自分の力で問題を解くことにより、興味がわいてくる。

4 数学は、解答を見て解き方を納得することにより、理解が深まり興味がわいてくる。

問題Ⅱ 次の(1)と(2)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適切なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)お母さんは赤ん坊に、生まれた日からしゃべりかける。もちろん、赤ん坊は何も理解しているはずはない。しばらくして、目の焦点が合わせられるようになると、赤ん坊はお母さんの顔を一生懸命に見る。お母さんが舌を出したり、口をとがらすと、赤ん坊がそれを真似るといわれている。

この能力はそう簡単なものとは思えない。赤ん坊は目でお母さんの顔をみて、それを

自分の顔の形を変える^{きんにく}筋肉の活動に訳さなければならない。大人なら鏡をみて自分の顔がどう変わるかわかるが、生まれて数ヶ月の赤ん坊にはそんなことはできない。

クールの最近の研究によると、赤ん坊はお母さんの口の形を見ただけで、それがどの声

に対応するかを知っている。クールは次のような実験で、これを^{しょうめい}証明した。

まず、スピーカーから「ア」という音を出す。そして、二つのテレビの^{がめん}画面のうち、一つにはお母さんが「ア」というときの顔を見せ、もう一つの画面には「イ」の声を出している顔を映す。そして、^{かく}隠しカメラで赤ん坊の目や頭が、どちらを向いているか記録してみると、赤ん坊は「ア」といっている顔の方に目や顔を向けることがわかる。

人間の社会では声と顔の表情が大切な信号だから、赤ん坊が声と顔の関係を早く習う能力を持って、生まれてくるのであろう。(③)、口の形と声との関連性は、赤ん坊の^{ころ}頃から^(注4)頭に焼き付けられる。

(小西正一『小鳥はなぜ歌うのか』岩波書店による)

(注1) とがらす: 鋭く細くする

(注2) クール: 研究者の名前

(注3) どの声に対応するか: どの声を表すか

(注4) 頭に焼き付ける: しっかりと記憶する

【問1】 ①「この能力はそう簡単なものとは思えない」とあるが、それはなぜか。

- 1 母親のしゃべりかけるときの表情の意味を理解するのは難しいから
- 2 母親を見て自分がどちらを向くかすぐに決めなければならないから
- 3 母親を見て自分の顔の^{きんにく}筋肉を同じように動かす必要があるから
- 4 母親のしゃべりかける内容の意味を理解するのは難しいから

【問2】 ②「クールの最近の研究」の結果から考えると、母親の「イ」という声を赤ん坊に聞かせた場合、赤ん坊はどうすると思われるか。

- 1 「イ」というときの母親の顔の画面を見る
- 2 「ア」というときの母親の顔の画面を見る
- 3 本物の母親がどこにいるか、さがす
- 4 母親の声のした方をふり返る

【問3】 (③)に入る最も適当な言葉はどれか。

- 1 しかし 2 しかも 3 といっても 4 このように

【問4】 この文章の内容と合っているものはどれか。

- 1 人間は生まれてすぐ、母親の顔の真似^{まね}ができる。
 2 大人になると、顔と声を分けて理解するようになる。
 3 赤ん坊は母親の「イ」の顔より「ア」の顔の方を好む。
 4 人間は生まれてから早い時期に顔と声の関係を学習する。

(2)フリーターがふえている。200万人にちかい、ともいわれる。それでもたいした社会問題^①にならないのは、フリーターというよび名だからである。けっして失業者とよばれない。1999年現在、15歳から24歳までの男性の失業者は、10.3パーセントにも達している。

労働省^{ていぎ}の定義によれば、「フリーター」とは、15歳から34歳までのパートやアルバイトをしている男女、ということになる。つまり、34歳をすぎると、もうフリーターとはよばれない。ただのパートかアルバイトである。女性の場合、フリーターといわれるのは、独身者のことで、主婦になると、パートのおばさん、である。

フリーターは、自分で就^{しゅうしょく}職^(注1)せずに、気ままにはたらいて、自由を楽しんでいるようにみえるが、実際のところは、うまく就職できないための、浪人^{ろうにんぐ}暮らし^(注2)がすくなくない。それは失業率がたかくなると、フリーターが多くなることによっても、よく理解できる。正社員^(注3)に登用^{とうよう}されるかもしれない、と思って、一生懸命^{いっしょうけんめい}はたらいしたが、採用^{さいよう}^(注4)されなかった、というフリーターも多い。これ^②などは、まちがいなく失業者の部類にはいるひとである。

(鎌田慧『現代社会 100 面相』岩波書店による)

(注1) 気ままに:自分の思い通りに

(注2) 浪人^{ろうにんぐ}暮らし:ここでは、失業中の状態

(注3) 正社員に登用^{とうよう}する:正式な社員の地位に引き上げる

(注4) 採用^{さいよう}する:雇う

【問1】 パートやアルバイトをしている人で「フリーター」とよばれるのは、次のうち、どのひとか。

1 25歳で結婚している男性

2 25歳で結婚している女性

3 40歳で独身の男性

4 40歳で独身の女性

【問2】 ①「たいした社会問題にならない」とあるが、なぜか。

1 フリーターは失業者だと思われていないから

2 フリーターは労働者全体からみて数が少ないから

3 フリーターというよび名がまだあまり知られていないから

4 フリーターは自分の意志で自由を楽しんでいるひとだから

【問3】 ②「これ」とあるが、何をさしているか。

1 自由を楽しんでいる浪人^{ろうにんぐ}暮らしのフリーター

2 正社員になりたいのに採用^{さいよう}されないフリーター

3 仕事があるのに自分で就^{しゅう}職^{しよく}しないフリーター

4 一生^{いっしょうけんめい}懸命はたらいて、正社員に登用^{とうよう}されたフリーター

(3)日本人に、日本語で話せば分かる、通じると思うのも、もしかしたら幻想^{げんそう}かもしれない。
(注1)

たとえば、「情^{なさ}けは人のためならず」という諺^{ことわざ}の意味。つねづね人に情^{なさ}けをかけ、親切^(注2)にしていれば、自分が困ったときに誰^{だれ}かが助けてくれる。だからけっして他人のためじゃない、自分のためでもあるんだよというのが今までの解^{かい}釈^{しゃく}だった。しかしこの頃^{ごろ}は違うのだそうだ。

あんまり情^{なさ}けをかけると、それを当^あて^(注4)にして怠^{なま}け者になってしまう。だから情^{なさ}けはかけるな、ということなのだそうだ。

この解^(注5)釈^(注5)があながち間違っているとは言えないのが、時代性というものだ。現代は食べるのに困るというような人がいなくなってしまった。どうしても助けなければならぬような人がいない。居るとすれば多くはその人自身の問題。怠^{なま}けて働^{はたら}かなかったり、選^より好^{この}みをしていて仕事をしていなかったり。そんな人に情^{なさ}けをかけたらたしかに甘^{あま}え^(注7)るだけかもしれない。
(注6)

言葉の意味は時代を反映する。

(沖ななも「伝える言葉・感じる言葉」『出版ダイジェスト』1999年11月20日号出版ダイジェスト社による)

- (注1) 幻想^{げんそう}: 現実にはないことを想像すること
- (注2) つねづね: 常に
- (注3) 情け^{なさ}をかける: 相手のために思って助ける
- (注4) 当て^あにする: 期待する
- (注5) あながち～ない: かならずしも～ない
- (注6) 選り好み^{よこの}: 好きなものだけを選ぶこと
- (注7) 甘える^{あま}: 人の親切に頼る

【問1】 「情けは人のためならず」という諺^{ことわざ}の、現在の解釈^{かいしゃく}に合っているのはどれか。

- 1 自分が困っているときは人に甘えた^{あま}方がいい。人はみんな問題があり、助け合って生きているのだから
- 2 困っている人を見たら助けてあげよう。自分が困ったときに誰か^{だれ}が助けてくれるかもしれないから
- 3 困っている人を見ても助け^{なま}ない方がいい。その人が他人に頼って怠けるようになると困るから
- 4 困っている人を見たら助けてあげよう。その人が後で必ず自分に親切にしてくれるから

【問2】 「情けは人のためならず」という諺の解釈が変わったのはなぜか。

- 1 怠けて働かない人が少なくなったから
- 2 昔より人を助ける親切な人がふえたから
- 3 日本人でも日本語が通じない人がふえたから
- 4 昔のように助けを必要とする人はいなくなったから

【問3】 筆者の言いたいことはどれか。

- 1 言葉の解釈は時代とともにかわるようだ。
- 2 言葉の解釈はもともと使う人によって違うものだ。
- 3 古い時代の言葉の意味が現代に正しく伝えられないのは残念だ。
- 4 現代は人々が豊かになって、情けの意味が分からなくなっている。

問題Ⅲ 次の(1)から(5)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)先日、手術をなさったとのことですが、その後お加減はいかがでしょう？ こちらはみんな変わりなくやっています。

上の娘が^{しゅうがくりょこう}修学旅行に行ってきました。あちらは今、ちょうど紅葉^ま真^さっ盛^さりのようで、
^{あらしやま}嵐^(注2)山が美しかったそうです。

覚えていますか？ 私たちも高校生の修学旅行で、京都に行きましたね。^{さかの}嵯峨野で食べた
お豆腐がおいしかった。^{なつ}懐かしいですね。また、あなたが元気になったらまいりましょう。

娘が京都で買ってきた、絵ハガキを^{どうふう}同封^(注3)します。

それではまた、お大事に。

(市田ひろみ『心を伝える手紙の書き方』社団法人家の光協会による)

(注1) ^{しゅうがくりょこう}修学旅行：研究・見学のため教師が生徒を連れて行く旅行

(注2) ^{あらしやま}嵐^{さかの}山、嵯峨野：京都の中の地名

(注3) ^{どうふう}同封する：封筒の中に一緒に入れる

【問い】 手紙を書いた人の説明として正しいものはどれか。

- 1 友人が病気で、その病気が治ったら一緒に^{きょうと}京都へ行きたいと思っている。
- 2 京都にいる友人に、^{さかの}嵯峨野へ旅行に行く計画の相談をしたいと思っている。
- 3 最近手術をしたが、治ったら嵯峨野へ行って、^{とうふ}豆腐を食べたいと思っている。
- 4 紅葉の美しい^{あらしやま}嵐山の絵ハガキを高校生の娘に買ってきてほしいと思っている。

(2)私たちは、食べるためばかりでなく、便利で快適な生活を送るために、知らず知らずのうちに多くの生き物の命を^{うば}奪っています。しかしこのことは、日常生活のなかで実感としてもつことはすくないでしょう。人が生き物の命の^{とうと}尊^(注1)さをわかるには、^{ぎやくせつてき}逆説^(注2)的になるかもしれませんが、生き物の命をあやめているという「実感」をもたなければなら
^(注3)ないでしょう。そうした過程を経なければ、命の尊さなどということとはわからないのでは

ないでしょうか。

(松浦秀俊『川に親しむ』岩波書店による)

(注1) ^{とうと}尊さ:大切さ

(注2) ^{ぎやくせつてき}逆説的になる:^{むじゆん}矛盾しているように見える

(注3) あやめる:殺す

(注4) ^へ経る:通る

【問い】「そうした過程」とはどのようなことか。

- 1 生き物とともに、便利で快適な生活を送る経験をする
- 2 実際に生き物を殺しているということを心から強く感じる
- 3 食べるためには、多くの生き物を殺すことは当然だと考える
- 4 多くの生き物の命を^{うば}奪っていることに気づかないまま生活すること

(3)「急がば回れ」ということわざがある。急いでいるのなら回り道をした方がいいという意味であるが、急いでいる時に遠い回り道を選ぶ人はいないだろう。多少の危険があっても近道をしてしまうのが普通ではないか。つまり、これは実際に回り道をしろと言っているのではなく、あわてて事故を起こしたりしないように、それだけの余裕^{よゆう}を持つということなのだ。

【問い】筆者によると、「急がば回れ」は急いでいる時にどのようにした方がよいということか。

- 1 危険があっても近道をした方がいい。
- 2 危険があっても遠い道を選んだ方がいい。
- 3 事故を起こさないように遠い道を選んだ方がいい。
- 4 事故を起こさないように十分余裕^{よゆう}を持った方がいい。

(4)私は、病気は、人間にとって偶然^{ぐうぜん}おちかかってくる事故のようなものだと思っている。それを、どのように受けとめるかは、一人一人の人間のすることで、^(注1)病気が逆に、ある人間にとっては、^(注2)時がたつうちに、しあわせな事件であったということにもなるのだ。

(なだいなだ「お医者さん」『定義集』中央公論新社による)

(注1) おちかかってくる:ここでは「(よくないことが)おこる」の意味